



名前 _____

塾報受取日 _____ 月 _____ 日

星の郷教室 7月の予定

- 6月29日 7月度授業料引落日
(7月8日 引き落とし予備日)
7月5日(日) セタそろばんワールド
7月11日(土) 全大阪オープン大会
チャレンジャーズ大会申込締切
7月12日(日) グランプリ大会練習会
7月18日(土) 塾生ブロック大会
申込締切
7月20日(月・祝) A1大会
7月25日(土) i-test 7月一斉試験
7月26日(日) グランプリ大会練習会

特別練習の予定と対象者

- 6月27日 午後3時～5時
○1～3級・段位受験者のみ
6月27日 午後5時～7時
○アドバンスト・チーム (A-team)
○1～3級・段位受験者
○セタ大会出場者
7月4日 午後3時～5時
○セタ大会出場者のみ
7月4日・11日 午後5時～7時
○アドバンスト・チーム (A-team)
○i-test受験予定者
○セタ大会出場者
○A1大会出場者

- グランプリ・全日本出場者
7月18日 午後3時～5時
○A1大会出場者のみ
7月18日 午後5時～7時
○アドバンスト・チーム (A-team)
○i-test受験予定者
○A1大会出場者
○グランプリ・全日本出場者

7月25日 特別練習はありません

☆6月28日検定について☆

- 2・3級…星の郷教室 午前8時
1級…北大阪会議所 午前11時20分
段位…星の郷教室 午前8時

当日は午前7時に教室を開けます。
自由に練習してください。1級は会場
に直接行ってください。時間に余裕を
持って行動してください。会議所まで
の行き方についての案内は教室にあり
ますので必要な方は申し出てください。
1級受験の中学生以上は生徒手帳
が必要です。

◎7月20日のA1グランプリ大会は、
枚方市立地域活性化支援センター（「輝
きプラザきらら」内）において正午開
会、午後4時30分閉会予定です。参加
者は現地集合ですので開会の15分前ま
でに会場にきてください。駐車場には
限りがありますのでご了承ください。

出場の申込をした生徒には、練習問題を渡します。家でもできるように数回分の問題をまとめて渡しますので、少しでも上位に進出できるようにがんばりましょう。会場には枚方市からのバスが有ります。大会の観戦もできます。緊張でガチガチになりながらも必死に取り組む子どもたちの様子を間近に観戦できます。

◎9月13日（日）午前9時30分開始、正午終了予定の塾生珠算競技ブロック大会の申込締切は7月18日（土）です。出場資格のある生徒の皆さんには申込書を配布します。

◎本年度の全大阪オープン大会と全大阪チャレンジャーズ大会は8月23日、大阪商工会議所で開催されます。全大阪大会は珠算・暗算段位ともに6段以上取得者、チャレンジャーズ大会は珠算能力検定試験2級取得以上、i-test全種目レベル3以上の練習生に出場資格があります。本年度の合宿参加者の皆さんは可能な限り申し込みをしてください。合宿でのメイン練習になります。参加料は全大阪大会3000円、チャレンジャーズ大会2000円です。申込締切7月11日。

◎7月のi-test一斉実施は7月25日午前10時30分からです。25日に受験する生徒の皆さんは24日までに申込を済ませておいてください。当日都合が悪い場合は7月中の他の日に受験できます。i-testは1種目から受験できます。受験を目指して練習することで練習の効率が上がり、早期上達が臨めますので是非申し込みをしてください。

◎合宿の説明会は8月1日午前10時30分から30分程度を予定しております。

◎7月12日・26日のグランプリ大会合同練習会は守口市教育文化会館において午前10時から午後4時まで行われます。本大会に出場しない皆さんでも参加できます。参加を希望する皆さんは申し出て下さい。

☆7月17日（金）午後6時以降、ふじがお幼稚園のサマーカーニバルのため、駐車場の利用ができなくなります。なるべく、徒歩か自転車を利用して下さい。

暗算検定結果発表

☆1級合格

大土井穂賀 窪田大誠 白川香乃
田中友子 河田青大 西村優里菜
若林日和

☆準1級合格

福江夏歩 山本夕有花 見山真菜

☆2級合格

岩宗楓斗 畑さくら 渡邊安菜
和泉琴音 平生義智 渡邊悠
北尾明日希 平井望彩 上井茅衣
村田拡己 有田蒼空 久保心暖

☆準2級合格

井上楽耀 小西美琴 田中穂夏
山田創大 石橋広太郎

☆3級合格

佐藤菜南子 判田翔汰朗 藤本直也
松田拓也 本坂明日香

出席時間20時間以上の生徒

（6月20日までの1ヶ月）

梶本悠生52 田中章太郎48 田代和花47 盛井結子47 由比彩菜47 和泉初音44 藤江茉奈44 山内美空43 平生絵理42 岩瀬菜々香41 湊結子41 村田拡己41 奥田南海38 金本愛夢38 山根未来37 大土井楓賀36 和泉琴音35 見山紀子35 吉永灯35 福江夏歩34 岡田亜瑠33 西松優大33

大土井穂賀32 大上航正32 四宮彩花32 西松美咲32 近藤楓31 大土井慧賀30 今中倅30 今中僚30 竹下綾音30 久本和奏30 見山真菜30 池田優花28 越野貴也28 西井萌28 西畑美伶28 井上心結27 上林剛士27 久保田莉央27 田中穂夏27 平井望彩27 森田航平27 石川ひなた26 中村颯希26 西井颯一郎26 渡邊悠26 井上寛大25 出口来実25 堀さやか25 楓陸24 住吉海飛24 西村優里菜24 渡邊一貴24 神山周23 出合拓翔23 田中歩23 茅島悠斗22 齊藤小春22 永津敦之22 文沢駿介22 森亮友22 吉田彩良22 大野虹21 岩成桃21 高山翔太21 分林椿21 福原健太21 林和花21 森本爽月21 宮城葵21 山口太雅21 一宮敬智20 有田ころこ20 大内峻聖20 入口寛都20 金本大夢20 小林千尋20 北尾明日希20 金井里琥斗20 小林知世20 白川香乃20 澤田一心20 古川愛佳20 福井太一20 森本一生20

(あと1時間で20時間) 青田裕哉19 岩成海19 田中瞳夏19 高山琴音19 福田陸人19

猛スピードばく進中(PERFECT)

(初歩教材PERFECTを1ヶ月で20ページ以上進んだ生徒)

久本和奏182 今中倅121 松岡晃大92 上林剛士78 今中僚76 木中心大郎76 溝川心音75 山口太雅74 西畑美伶73 南佐優里68 山根蒼馬67 中野佑美61 西山大翔60 森山紗英53 今門克将48 根岸豊48 安田和平48 長小田幹太47 澤田一心46 松田藍花46 外間彩乃44 神山兼槻43 加地美空43 吉岡春菜43 藤原梨乃43 高谷楓乃40 伊丹琉太39 大橋碧39 高山優34 日高希愛34 高津乃愛33 村田玲奈32 宮城葵27 但馬明紗27 中村颯希27 勢登翼26 由比幹太25 石橋欣仁郎24 澤井も

奈24 半莖叶乃芭23 中村咲太22 金井里琥斗21 松田和真21 榎本結20
(あと1ページ) 奥根由菜19

フラッシュ暗算合格者

(6月20日までの1ヶ月間)

- 五段** 大土井楓賀 田代和花
三段 平生絵理 眞井夏希 由比彩菜
二段 井上楽耀
初段 三田村航季 見山紀子
2級 津隈瑛翔 林和花 森本一生
3級 津隈瑛翔 熊谷圭祐 田中章太郎
4級 近藤楓 福原健太 星野花音
5級 近藤楓 小林千尋 中島百萌
6級 小林千尋 明浦光里 岡本希美 西松美咲 西松優大
7級 小林千尋 西松美咲 西松優大
8級 小林千尋 西松美咲 井上心結
9級 小林千尋 井上心結 熊谷優里 中村颯希 西山大翔
10級 小林千尋 井上心結 中村颯希 西山大翔

傘かけ

星の郷教室の入り口横に、この時期に大活躍する「傘掛け」があります。傘立てにすると、スペースのわりに収容本数が少なかったり、傘の出し入れの時に傘が傷んだりすることがあって、教室新築にあわせて傘掛けを作ってもらいました。

ところが傘掛けという商品はあまり一般的ではなく、店の陳列用として流通しているものしかなかったのですが、「無いのなら作ればいい」ということで、ベランダに設置する物干し竿と竿受けを細工して傘掛け本体ができあがりました。

次に、屋根です。あんなに小さな屋

根もこれまた無くて、自転車用のポールの屋根を加工してようやく完成したものが、あの傘掛けです。

さて、傘掛けの利用には一つだけルールがあります。それは、必ず傘をきちんと細く丸めて止めること、というものです。

これは出し入れの時に傘を傷めないことと、出し入れのしやすさを考えてのことです。新入生の皆さんも、他の生徒が丸めてかけている様子を見て、特に指示をしなくとも真似ているようです。雨の日、一日に200人ほどが傘をさしてくるようになりますが、丸めるのを忘れて傘掛けにかかっているのは多くて3本程度ですから、かなり浸透しているルールといえるのではないのでしょうか。

ところで、ルールは、強制的に守られている間は落ち着かないものですが、無意識に動けるようになると、教養になる場合が少なくありません。

ある生徒。満員電車に乗るとき、無意識に癖で傘を丸めたところ、一緒にお母さんにいたく感心されたそうです。丸めたことでしたり落ちる水分を半減させ、なによりも周囲の人を濡らしてしまうリスクがかなり低減できることを誉められたのです。いつもの行動が「意味のあるもの」として信頼しているお母さんに認められたその生徒は、生涯にわたって傘を丸め続けることでしょう。

傘を丸めたり、大きな足音を立てずに教室内を移動したり、いすを引きずらずに持ち上げて動かしたりするのは一つずつ見ればたいしたことのない小さなものかもしれませんが、これが毎

日のことで、複数の動作となってくると、できるとできないのとは、大きな違いとなります。

伝統や文化は、小さな行為が教養となってまとまったものだと考えると、どんなに些細なことでも、やはり口を出したり目で指示したり行動で示したりしなければどうにも落ち着かないのです。

さて話は変わります。

お子様に、自宅の電話番号、住所、生まれ年を不意に尋ねてみて下さい。完璧にこたえられたでしょうか。

先日の授業中、20名ほどの生徒に尋ねたところ、なんと小学高学年にいたっても満足にいけない生徒が相当数いました。携帯電話やスマホに電話番号や住所が登録されているのが影響しているのかもしれませんが。

道に迷い、携帯の充電も切れてしまった時、さあ、どうする？と尋ねたところ、苦笑いをするのみでした。

機械に備わる複雑な機能を器用に使いこなすことも大切ですが、機械が無くても最低限のことを自分の頭に入れておくことも大切です。生身の自分の体だけではできないことと、能力の延長線上で利用すれば便利だということ。この2つをきちんと理解して、全面的に機械にゆだねることのないようにしなければならぬ時代になっています。

☆前月号に続き、全日本ユース大会の感想文をいくつか掲載します。成績や順位だけでなく、大会で生徒たちが何かを感じて成長する様子が読み取れることと思います。

何度も言い、そして何度も書いてきていますが、大会や検定は技術面でも精神面でも伸びていくための有力な手段の一つです。過度の競争心をもつ生徒や指導者も中にはいるかもしれませんが、心配はいりません。経験を重ねていく間に他者に向けられていた関心は、次第に自分自身に向けられていきます。

「今あるべき最高の自分」を目指して、作戦を立て、実行し、振り返って教訓を見つけ、次の作戦の材料にするという「精神面の拡大再生産」。日々の授業も各種の行事も、すべてこのことを目指して組み立てられています。

「本気」

練習での最高点840点、本番での成績は720点。何なんだ、このすさまじい差は…悪すぎるだろ。でもこれが、今年のコースでの成績です。

思えばこの一年間、ずっとこのような状況が続いていました。「どうして、いつもこうなるんだろう？」大会の度に悩まされてきました。そして、今年のコースがやってきました…。

コース大会には全国からそろばんの達人たちがいっぱいやってきます。特に、決勝を見ているとこの一言しか出ません。「すごい」

計算している様子を見ると、同じくらいの歳なのに何が違うんだろうと思います。何が違うのでしょうか？(比べるまでも無いですが…)スピード？正確さ？練習量？それとも脳の構造!?

どれも合っていると思いますが、何かもっと根本的に異なる部分があるような気がします。そして、それに気づいた

とき、スランプの理由がやっとわかりました。迫力のある返事、何より本気の宿った目つき…。「この人たちは本気でやっている。そして本気には何か不思議な力がある」目には見えないけれど、そんなものを感じました。本気を出し切らなかったことがスランプの原因だってことも。(自分では本気を出したつもりだったので)

今年僕は3年生。別名「受験生」。進路に関わる大事なテストがあって勉強をがんばらないといけません。そろばんでも出場できる大会はあまり多くありません。勉強に部活に、そして、そろばん。全てのことに本気を出して努力しようと思います。コースで学んだことを元にして。

(中学3年 男子)

私が今回のコースに出場して感じたことは二つあります。

一つ目は、本番というものの難しさです。それはコースに限ったことではありません。練習では取れるはずの点数が、本番では取れないといったことは今までに数えきれないほどあります。特に私は2014年のコースの点数が悪かったので、今年こそは本番でいい点数を取りたいと思っていました。しかし、練習で取った点数から設定した本番での目標点数に、惜しくも5点届きませんでした。

二つ目は、みとり算・みとり暗算についてです。私は昔から、これらの種目が苦手でした。これら二つがもう少し良ければ……、といったことが多々あります。これらはただの足し算と引き算ではありません。しかし、単純なものほど難しいということもあると思います。

では、これらを改善するためにはどの

ようにすれば良いのでしょうか。

私は練習を積むしかないと思います。練習をすれば実力がつきます。悪い点を取っても、全体を通しての平均点は練習によって上昇し、結果として改善につながります。しかし、これだけでは他の4種目(かけ算・わり算・かけ暗算・わり暗算)と同じレベルにまでなることはできないと思います。必要なものは集中力です。私も実感したのですが、この力は特に中学生以降につきやすいものです。

では、小学生以下の人たちはどうでしょう。私は、目標を設定し、常に意識しておくことで、集中力をつけられると思います。もちろん、中学生以降の人たちにも同じことがいえるでしょう。

結果として、私は目標を達成することができませんでした。なぜなら、目標を設定するという点で、各練習ごとに明確な目標を設定していなかったからです。私は、大まかな目標しか設定していませんでした。よって、一回一回の練習で明確に目標を立てることが、私の今後の課題だと思いました。(高1 男子)

私がユース大会に参加して毎年思うことは、決勝ステージのときの雰囲気は他の大会とはちがうということです。

私はいつも、席からステージを見ているだけですが、見ているだけでもとても緊張します。でも、そうやって見る機会があって、すごくうれしいです。

私がユース大会に参加できるのは、あと2回しかありません。なので2回とも参加して、良い結果を残せるように、勉強とそろばんを両立できるようにがんばっていききたいです。(中2 女子)

「緊張」

4月26日、京都で行われた全日本ユース珠算選手権大会。会場の中は張りつめた雰囲気といっぱいでした。会場に一歩足を踏み入れた時の私の感想は声が出せないくらいの緊張…。初出場だったのでとても楽しみに挑んだけど、予想以上に強者が集結しました。いつもの練習とは違って『大会』という言葉聞くだけで気合いが倍増するんだなぁと思いました。

かけ算を行う前に、昨年の大会で優勝された中村一輝さんがお話をして下さいました。中村さんは日々努力を積み重ねてきました。「努力はうらぎらない」「壁にぶちあたっても前向きに」などの大切なことを教えてくれました。その言葉を聞いて、努力は報われる、頑張らなきゃとあらためて考えさせられるお話でした。

先生の「よーい、はじめ」という大きな声で種目が始まり…無事6種目が終わりました。緊張しすぎて結果を知るのがとてもこわかったです。

昼食後、広い会場で全種目の決勝が始まりました。「たとえ強者だとしても私たちと同じように緊張しているのだろうな」と見ていて感じました。

そろばん種目も暗算種目も私は緊張しつつ楽しんだけど、自分の結果を見て「集中力があまりたりていないのかな？」と思いました。これからの練習に活かしていきたいです。

大会前は「指がうまく動かなかったらどうしよう」「点数が悪かったらどうしよう」と心配していましたが、大会が終わるとこれらのモヤモヤが心の中から消えていて安心しました。(中1 女子)